



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）河本 大輔
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員経営企画グループ （氏名）大戸 章浩 TEL 084-923-5552
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	13,548	5.1	701	12.2	836	14.4	569	16.7
2025年3月期中間期	12,895	6.4	625	△18.4	730	△14.9	487	△23.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 435百万円（△24.8％） 2025年3月期中間期 579百万円（△28.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	46.19	—
2025年3月期中間期	39.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	20,318	7,565	37.2	613.31
2025年3月期	19,655	7,223	36.8	577.87

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 7,565百万円 2025年3月期 7,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	8.5	1,000	30.6	1,300	18.9	840	12.2	68.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	13,495,248株	2025年3月期	13,495,248株
2026年3月期中間期	1,159,218株	2025年3月期	1,186,818株
2026年3月期中間期	12,318,685株	2025年3月期中間期	12,294,102株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(中間連結貸借対照表に関する注記)	7
(中間連結損益計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、継続的な物価の上昇や慢性的な人手不足に加え、米国の関税政策や中東情勢等の地政学的リスクにさらされ、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

この環境下において、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて、ブランド創造企業への挑戦、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高13,548百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益701百万円(同12.2%増)、経常利益836百万円(同14.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益569百万円(同16.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。
(自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、メーカー商品の相次ぐ値上げや消費者の節約志向による販売数の減少、キャッシュレス対応によるコスト増など厳しい状況が続く中、設置条件の改善や不採算機の引揚など、利益率の改善に向けて取り組みを続けております。また、10月にはメーカー商品の更なる値上げを控え、販売数量の減少にも耐えうる収益基盤の確立に注力しております。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は7,451百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は209百万円(同6.7%増)となり増収増益基調を維持いたしました。

(飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、世界的な抹茶ブームの影響を受け、静岡ローストシステム(株)の茶葉加工が順調に推移し、業績を牽引しております。一方で、酒類・飲料製造の2社において猛暑は期待ほどの製造数量の伸長につながらず、業績的には踊り場状態に差し掛かっております。

一方で、自社ブランド商品の拡販を最重要事項に位置づけ、基幹商品と位置付ける、缶チューハイシリーズ「アスター」のパッケージのデザインリニューアルなど、商品力・ブランド力強化に向け、マーケティング・販売戦略の改善を進めております。

この結果、飲料製造事業の売上高は5,875百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は612百万円(同8.5%増)となりました。

(不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート(株)を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は71百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は114百万円(同3.5%増)となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高122百万円を含めると194百万円となります。

(その他事業)

その他事業におきましては、ロジックイノベーション(株)が東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を行っており、その他事業による売上高は149百万円(前年同期比20.5%増)、セグメント利益は33百万円(前年同期比100.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は20,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ663百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加168百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加259百万円等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は12,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ320百万円増加いたしました。これは買掛金の増加368百万円及び短期借入金の減少50百万円等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は7,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する中間純利益による増加569百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は37.2%(前連結会計年度末は36.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日「2025年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,772	1,941
受取手形、売掛金及び契約資産	3,533	3,792
商品及び製品	1,017	970
原材料及び貯蔵品	337	354
前払費用	159	237
その他	686	710
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,505	8,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,650	2,794
機械装置及び運搬具 (純額)	2,452	2,558
工具、器具及び備品 (純額)	49	53
土地	3,812	3,807
リース資産 (純額)	324	282
建設仮勘定	335	412
有形固定資産合計	9,626	9,909
無形固定資産		
のれん	131	121
ソフトウェア	49	44
リース資産	13	10
その他	28	28
無形固定資産合計	223	204
投資その他の資産		
投資有価証券	1,650	1,565
長期前払費用	148	155
繰延税金資産	115	111
その他	427	412
貸倒引当金	△42	△43
投資その他の資産合計	2,299	2,201
固定資産合計	12,149	12,314
資産合計	19,655	20,318

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,734	3,102
短期借入金	2,580	2,530
1年内返済予定の長期借入金	1,179	1,254
リース債務	115	102
未払金	809	908
未払法人税等	108	239
未払消費税等	188	185
賞与引当金	200	210
その他	658	806
流動負債合計	8,575	9,341
固定負債		
長期借入金	3,185	2,836
リース債務	235	207
再評価に係る繰延税金負債	35	35
退職給付に係る負債	159	2
その他	240	328
固定負債合計	3,856	3,410
負債合計	12,431	12,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,036	1,040
利益剰余金	6,051	6,509
自己株式	△618	△604
株主資本合計	7,267	7,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	146
土地再評価差額金	△364	△364
為替換算調整勘定	202	40
その他の包括利益累計額合計	△44	△177
純資産合計	7,223	7,565
負債純資産合計	19,655	20,318

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,895	13,548
売上原価	8,042	8,432
売上総利益	4,853	5,115
販売費及び一般管理費	4,228	4,414
営業利益	625	701
営業外収益		
持分法による投資利益	80	104
その他	69	70
営業外収益合計	149	174
営業外費用		
支払利息	18	27
その他	25	11
営業外費用合計	43	39
経常利益	730	836
特別損失		
固定資産除却損	43	14
特別損失合計	43	14
税金等調整前中間純利益	687	821
法人税、住民税及び事業税	194	259
法人税等調整額	4	△6
法人税等合計	199	252
中間純利益	487	569
親会社株主に帰属する中間純利益	487	569

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	487	569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	29
持分法適用会社に対する持分相当額	95	△162
その他の包括利益合計	91	△133
中間包括利益	579	435
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	579	435

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
販売交付金	1,612百万円	1,629百万円
販売促進費	100	81
賃借料	109	108
役員報酬	109	120
従業員給与	870	919
賞与引当金繰入額	137	135
退職給付費用	27	29
減価償却費	70	67

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,283	5,417	70	124	12,895	—	12,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	78	115	52	248	△248	—
計	7,285	5,496	185	176	13,144	△248	12,895
セグメント利益	196	564	110	16	888	△262	625

（注）1. セグメント利益の調整額△262百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,451	5,875	71	149	13,548	—	13,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	66	122	83	274	△274	—
計	7,453	5,942	194	232	13,822	△274	13,548
セグメント利益	209	612	114	33	969	△268	701

(注) 1. セグメント利益の調整額△268百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。